

租税教育の実践



石巻市立貞山小学校
教諭 佐藤 仁美

本日の流れ

1. 小学校社会科の指導課程
2. 租税教育 本学級の取り組み
3. 租税教室で学んだこと

石巻市立貞山小学校 6年1組【計26名】

- ◎ 自分の考えをはっきりと伝えられる児童
- ◎ 元気がよく、学習に真剣に取り組む児童



活気にあふれ魅力ある学級

1. 小学校社会科の指導課程

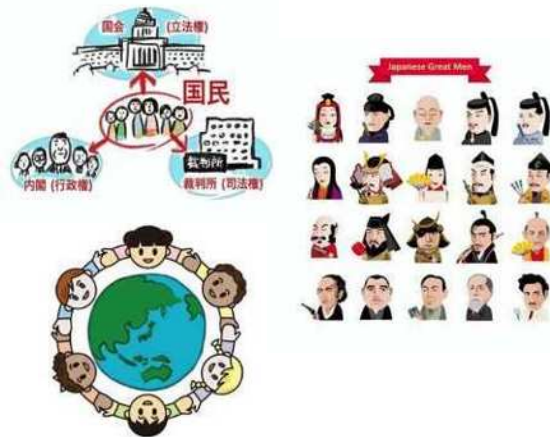
6年生社会科年間指導計画

年間時数（105時間）

- 政治 = 19時間
- 日本の歴史 = 72時間
- 国際 = 14時間

* 政治学習19時間のうち、税金を取り上げた内容は1時間。

国会、公共施設、選挙などに関連付けながら、幅広く学ぶ必要がある。



小学校社会科（政治・国際編）

日本国憲法三つの原則

- ① 基本的人権の尊重
- ② 国民主権
- ③ 平和主義

国民の三大義務

- ① 勤労の義務
- ② 納税の義務
- ③ 教育を受けさせる義務

国民の義務＝納税

税金とは・・・

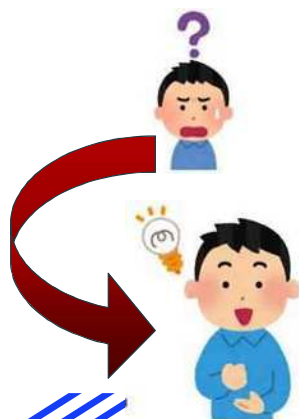


子供たちを取り巻く環境



- 家庭では、ニュースを見ない子も多い。
- インターネットで興味のある内容を調べ、最新情報を得る。
- 政治や社会情勢への関心が低い。

児童の「**分かった!**」を引き出すために



1. 興味・関心を高める
2. 身近なこととして考える
3. 自分で調べる、友達と深め合う

楽しい授業づくり

2. 租税教育 本学級の実践

1.導入 (興味・関心を高める)

◎ 馴染みのある消費税からのアプローチ ◎

お菓子の原価 + 消費税(10%) = 代金

「確かに、子供も税金を支払っているな。」



社会の一員・自分も関わっているんだという**実感**



大人だけの問題じゃない!



2.展開 (身近なこととして考える)

その1

◎ 選挙からのアプローチ ◎

電子黒板で一人ずつ投票させ、有権者だという体験をしました。

模擬選挙

問題 消費税について、各党は以下のように主張しています。

『あなたなら

A党とB党のどちらに投票しますか』
公約をよく見て考え、投票してみましょう。



A党

お年寄りの人口が増えているので、医療に関する公共的なサービスを維持するために消費税を増税します。



B党

国民に負担のかかる増税は、するべきではありません。まずは、現在の税金の使われ方を見直すべきです。

模擬選挙の結果は……………

B党 13人

国民に負担のかかる増税は、するべきではありません。まずは、現在の税金の使われ方を見直すべきです。

A党 10人

お年寄りの人口が増えているので、医療に関する公共的なサービスを維持するために消費税を増税します。

税金が正しく使われるのなら、増税もやむなしと考えた児童も多かったことに感激。

模擬投票結果

B党の勝利
しかし
A党への投票数も多かった。

2.展開 (身近なこととして考える)

その2

◎ 生活クイズ ◎

右の図で、税金が使われている施設はどれでしょう。

児童は、全問正解！

ごみ処理施設

銀行

交番

コンビニ

小学校

市役所

レストラン

市民病院

信号機

公園

会社

3. 租税教室で学んだこと

もし税金がなかったら

具体的な場面を想像し、理解が深まった。



税金は社会の会費！

納めなければならない大切なもの

3.まとめ (学習を振り返る)

租税教室の感想をまとめました。

税金はとても大切なお金だと思いました。
消費税はいつもみんなはらっているけど大人
になると色々な税金を支払いを
しなくてはならないと思うと税金を減
らしてほしいと思ったけど色々な所に
税金が使用されていることが分かったので
税金をはらうことはとても大切だと思
いました。



ご清聴ありがとうございました。